

週 報

1989年5月14日 聖霊降臨節第1主日

聖霊降臨日(ペンテコステ) 母の日

巻 10 7号

1989年度教会主題

「神の言葉に従う」

聖句 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。」……アブラムは主が言われたようにいで立った。

創世記12章1節、4節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 新会堂の建築計画を完成する。

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

一 今週の誕生者一

一 集 会 状 況 一

日本の教会は「聖書研究会」と言い、何か特別な知識を得る会のように位置づけてきた。しかし、私たちは聖書学者になるわけではない。聖書を読み、自分とこの時代に訴えかけてくるものを率直に受け止めれば充分だと思う。良い発題、良い感想などと言うものはない。生活の中で聖書のみ言葉に直接触れることが最も大切で、それが教会生活の意味である。多くの方に参加していただき、あるがままの自分を発題し、お互いの生きた交わりの場に高められたいと願っている。

詩篇は神に向かって、悲しみと苦しみのうめき、そして、感謝と賛美の心がまっすぐに捧げられている。神を信じることは、このように解放されることなのかと示される。「主よ、わたしの魂はあなたを仰ぎ望み、あなたに依り頼みます。」ここから人間の主体的な生き方がはじまる。信仰は自分を神に明け渡し、神から自分を確立させられる逆説的な営みである。

一 牧 師 室 か ら 一

婦人会の聖書研究は詩篇を学んでいる。詩篇に入ってから私の一方的な講義をやめ、皆さんに一篇づつ割り当て、まずそれを朗読し感想を話していただく。その後自由に話し合う形式に変えた。大変興味深い。何を喜び、何に悩みどう越えようとしているかが話され、生きた学びになる。